2026 本のぽけっと

小学生におすすめするあたらしい本
（2024年１月以降に出版された本）

発行：市川市中央図書館

1・2年生向け

マイヤーさんと大きくなりすぎた犬

リリアン・ムーア作
レオーネ・アデルソン／作　小宮由／訳
kei saito／絵　さ・え・ら書房
（2025.3）

933
ム

ある日、ノディさん一家にかわいいしろい子犬がやってきました。なまえはバターボールです。しかし、大きくなったバターボールはいたずらばかりして、まわりの人たちをこまらせていました。そこで犬の捕獲人のマイヤーさんにつれていかれることになりました。マイヤーさんのトラックにのせられた犬たちはもう二どとみることはないのです。バターボールはいったいどこにいってしまうのでしょうか。

空となかよくなる天気の写真えほん くものなまえ

荒木健太郎／文・写真・絵
金の星社（2024.9）

E
ア

空にいるいろいろなくもは、ひとつひとつになまえがあります。いわしぐも、うろこぐもというなまえの巻積雲。ひつじににているひつじぐもは高積雲。どのくもがどんなまえなのか、大きなしゃしんでせつめいされています。ほかにもシリーズがあります。

ほかにもあるよ、こんな本（1・2年生向け）

- ◆『パインさんのごちゃまぜかんばん』レオナード・ケスラー／さく　小宮由／やく　大日本図書
- ◆『バッタマンション』北川佳奈／作　九ポ堂／絵　アリス館
- ◆『山に登る』星野秀樹／写真・文　アリス館
- ◆『あいたくてたまらない　ももいろの貝とやどかりぼうやのお話』おくやまゆか／さく　福音館書店
- ◆『さいこうののらねこシルバー』ケイト・クライス／文　M.サラ・クライス／絵　まえざわ　あきえ／訳　BL出版
- ◆『ふしぎなつうがくろ』花里真希／さく　石井聖岳／え　講談社
- ◆『ゆうやけトンボジェット』吉野万理子／作　村上幸織／絵　二橋亮／監修　くもん出版
- ◆『本はともだち　ほんともツアーへようこそ』スギヤマカナヨ／著　子どもの未来社
- ◆『山の木、とどけ！つなげるつながる木の仕事』キッチンミノル／さく　テキサスブックセラーズ

3・4年生向け

ベランダでわたをつくったよ

そだててつむぐ綿花

あおきあさみ/さく

福音館書店（2025.4）

E
ア

綿花って知ってる？おとなりのおばあちゃんから綿花のタネをもらったモモは、弟のタイガといっしょに植木鉢にタネをまいて、かんさつすることにしたよ。芽が出てぐんぐん育ち、綿花の花がさいたあとには実がなる。実の中に、ふわふわのわたができるんだって。わたから糸をつむぐと、布を作れる。モモはその布でなにを作るのかな。ゆっくり時間をかけて、そだてて作るのも楽しいね。実際にわたをほぐし、糸をつむいで布を作るやりかたものってるよ。

しおりのカチューシャ

草野たき／作

エヴァーソン朋子／画

福音館書店（2025.5）

913
ク

四年生のしおりは、一年生の時に困ったところを助けてくれた同級生の神田くんにお礼を言い出せずにいます。しかし、神田くんのお姉さんで、児童会長のまゆかさんがつけていたカチューシャを、自分もつければ話すきっかけになるかもと考えました。そこで、色ちがいのカチューシャを買うためにおこづかいをためはじめますが、なかなか思うようにいきません。自分の気持ちをはっきり言えないしおりが、少しずつ成長していく物語です。

ほかにもあるよ、こんな本（3・4年生向け）

◆『机の下のウサキチ』岡田淳／作　偕成社

◆『魔女がやってきた！』マーガレット・マーヒー作　尾崎愛子/訳　はたこうしろう/絵　徳間書店

◆『イチからつくるホウキ』（イチは、いのちのはじまり）
宮原克人/編　堀川理万子/絵　農山漁村文化協会

◆『夏を走る！勇気とぼくらのペダル』高田由紀子／作　かわいちひろ／絵　あかね書房

◆『海　ビーグル号で海たんけん』高久至／写真・文　アリス館

◆『ペット探偵事件ノート　消えたまいごねこをさがせ』
赤羽じゅんこ／作　中田いくみ／絵　講談社

◆『エナガのくらし　いつも仲間といっしょ』東郷なりさ／作　江口欣照／写真　文一総合出版

◆『こねずみくん、ききいっぱつ！』ヘルダ・デ・プレーター／作　テー・チョンキン／絵　鵜木桂／訳　徳間書店

5・6年生向け

こちら、沖縄美ら海水族館動物健康管理室。

世界一の治療をチームで目指す

岩貞るみこ/文

サタケシュンスケ/イラスト

講談社 (2024.6)

480 イ

沖縄美ら海水族館の「動物健康管理室」。ここでは獣医師、動物看護師、検査担当者が飼育員と一緒に一つのチームになって、すべての生き物の健康を管理して、命を守るために日々奮闘しています。イルカがもう一度仲間と泳ぐための新しい人口尾びれのプロジェクト、ウミガメを海にかえしたり、ヒブダイのけがの治療、ジンベイザメやホホジロザメの研究、マナティーの人工保育など7つの仕事を紹介しています。

カルディコット・プレイスの子どもたち

ノエル・ストレトフィールド/作

尾崎愛子/訳 偕成社 (2025.2)

933 ス

ビル、キャロル、ティムのお父さんが事故でけがをして働けなくなったため、引っ越すことになりました。しかし、今度はアパートなので犬のジェリーは飼えません。また、お父さんは記憶がもどらず、なかなか退院できません。そんなある日、ティムが病院で偶然出会ったレディー・ペインから、広い家が譲られることになりました。そこでは、ジュリーも飼えるし、お父さんの健康にもよさそう。でも、古いその家を維持するために、休暇の間、3人の子どもを預かることになったのです。

ほかにもあるよ、こんな本(5・6年生向け)

◆『世界を掘りつくせ! 人類の歴史を変えた18の偉大な発掘の物語』

アレクサンドラ・ステュワート/著 キティ・ハリス/著 喜多直子/訳 創元社

◆『ぼくへのレファレンス』岩崎まさえ/作 黒須高嶺/絵 国土社

◆『タコのなぞ 海の賢者のひみつ』池田譲/著 講談社

◆『中国のフェアリー・テール』ローレンス・ハウスマン/作 松岡享子/訳 福音館書店

◆『スペルホーストのパペット人形』ケイト・ディカミロ/作 ジュリー・モースタッド/絵 横山和江/訳 偕成社

◆『しじんのゆうびんやさん』斉藤倫/作 牡丹靖佳/画 偕成社

◆『世界のふしぎは、きっと誰かの仕事でできている。』

田丸雅智/著 フルカワマモる/絵 Gakken

◆『カーニバルに消えたダイヤを追え 』(痛快!マジック同盟ミスフィッツ)

ニール・パトリック・ハリス/作 アレック・アザム/作 松山美保/訳 静山社

予約もできるよ！
（市川市にすんでいる人
市川市の学校に行っている人）

市川市の図書館なら
どこでも返せるよ☆

図書館に行ってみよう！

今回紹介した本は
市川市の図書館でかりることができます。

こどもとしょかん（中央図書館）
鬼高1-1-4　047-320-3346

自動車図書館（みどり号）
鬼高1-1-4　047-320-3346

信篤図書館
高谷1-8-1
047-328-8831

行徳図書館
末広1-1-31
047-358-9011

おうちの近くに図書館はあるかな？
図書館のほかにも、車に本をのせた
自動車図書館も走っているよ。
まだ図書館のカード（図書館利用券）を
持っていない人は、おうちの人と一緒に
図書館に行って作ってみよう！
1枚のカードで20冊本が借りられるよ。
（無料です）

平田図書室
平田1-20-16
047-321-2243

市川駅南口図書館
市川南1-10-1
I-link タウンいちかわ
ザ タワーズ ウエスト3階
047-325-6241

こども用の図書館の使い方

南行徳図書館
相之川1-2-4
047-357-4188